

デジタルガバナンス・コード3.0 改訂のポイント

2024年9月

経済産業省 商務情報政策局

情報技術利用促進課

主な改訂のポイント

- 今回はより経営者がDXに取り組むことを推進するため、**DX推進による企業価値向上に焦点を当てた改訂**を実施。

<名称>

- デジタルガバナンス・コードの目的である「**DX経営による企業価値向上**」を**強調する副題**を新たに記載

<序文>

- DXの推進による企業価値向上に焦点を当てた経営者向けのメッセージを追加するなど、**序文を大幅に見直し**
- 「人的資本経営の実現に向けた検討会報告書～人材版伊藤レポート2.0～」の3つの視点と整合する、「DX経営に求められる3つの視点」を追加し、**デジタルガバナンス・コードの全体像を「DX経営に求められる3つの視点・5つの柱」と新たに整理**

<本文>

- 経営者への伝わりやすさを重視し、**柱立ての名称・構成を大幅に見直し**
- デジタルガバナンス・コード2.0において「取組例」として設けていた内容を「**望ましい方向性**」に統合し、**より簡潔で分かりやすい内容に変更**
- データが企業の成長に欠かせない要素になってきていることを踏まえ、**経営におけるデータ活用やデータ連携の重要性を強調**
- **DXを推進していく上で最大の課題であるデジタル人材の育成・確保**について、デジタルスキル標準を参照した社員のスキル可視化や経営者を含めた役員・管理職の意識改革、キャリア形成支援等の**重要性を強調**
- **サイバーセキュリティリスク**について、第三者監査やサプライチェーン保護に向けた対策等の**重要性を強調**
- その他、取締役会の役割等、**各項目において必要な見直しを実施**

デジタルガバナンス・コード3.0の全体像

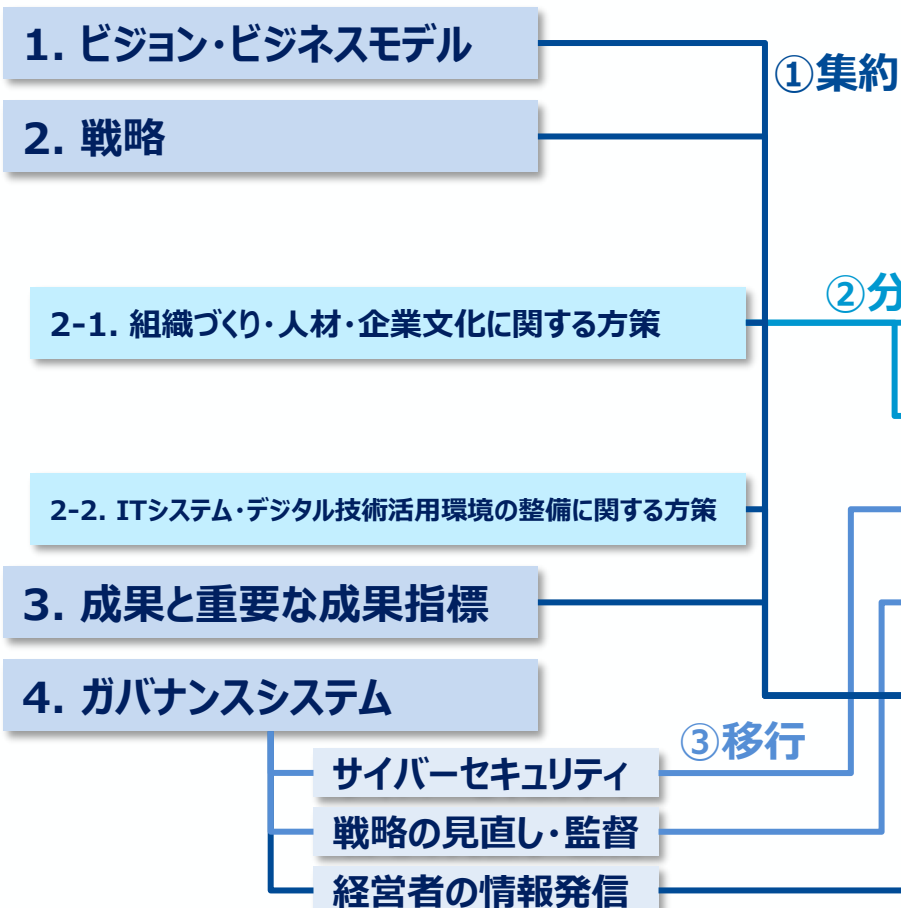
- デジタルガバナンス・コード3.0の全体像（DX経営に求められる3つの視点・5つの柱）を以下のとおり整理。



デジタルガバナンス・コードの柱立ての見直し

- ①各柱のステークホルダーへの開示関係を集約、②デジタル人材を新たに柱として記載、③ガバナンスシステムの各項目は関連する柱に移行した上で、各柱の名称を見直し。

改訂前（デジタルガバナンス・コード2.0）



改訂後（デジタルガバナンス・コード3.0）



デジタルガバナンス・コードの構成の見直し

- コードを簡潔にし、分かりやすくするため、記載内容が類似している（3）取組例を（2）望ましい方向性に統合し、項目を精査。

